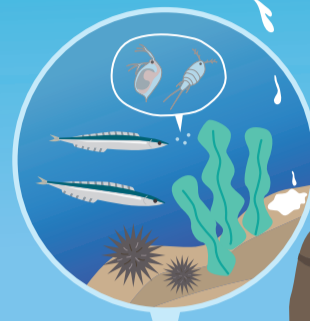


海鳥が暮らす環境

天売島の海鳥繁殖地は、集落のある東海岸の反対側に位置する西海岸にあり、高さ100mを超える断崖が続きます。海に面した崖は外敵が近づきにくいので、多くの海鳥が崖のくぼみや隙間、岩棚を利用して子育てをしています。

海鳥の糞には、海の生きものを育てるための大事な栄養が含まれています。繁殖地周辺の海では海藻類が生い茂り、プランクトンが豊富です。海鳥のエサだけでなく、私たちの食卓に並ぶウニや魚を育み、豊かな漁場を支えています。



生きものと一緒に暮らす島 天売島へようこそ

北海道北西部の日本海側に浮かぶ島、天売島。周囲12kmの小さな有人島には、海獣類などが生息し、多くの渡り鳥が集まるなど、多様な生きものに会えます。世界有数の海鳥の繁殖地でもあり、春には数十万羽の海鳥が子育てのためにやって来ます。島の中では、海鳥をはじめとした、さまざまな生命の営みが繰り広げられています。

天売島で繁殖する海鳥は8種類

1年を通して観察できる海鳥は約40種類



天売島の生きもの散策マップ

〈制作・発行〉
北海道海鳥センター / NPO 法人 EnVision 環境保全事務所
〈協力〉
Conservation Dimensions Inc. (カナダ)

天売島で繁殖する海鳥たち



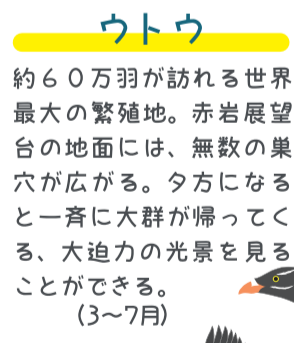
ウミガラス

日本唯一の繁殖地。崖のくぼみ(巣棚)に営巣し、1日に何度も巣棚を出入りしてエサを獲りに行く。羽幌一天売島の航路やクルーズ船で観察できる。(3~7月)



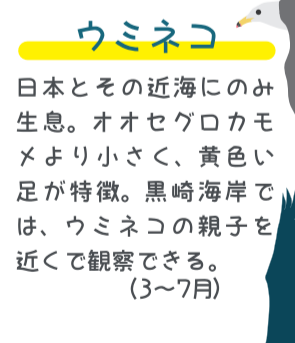
オオセグロカモメ

日本で繁殖するカモメの仲間の中で一番体が大きい。ピンクの足が特徴。海鳥観察舎から、断崖の斜面で子育てする様子が観察できる。(1~12月)



ウトウ

約60万羽が訪れる世界最大の繁殖地。赤岩展望台の地面には、無数の巣穴が広がる。夕方になると一斉に大群が帰ってくる、大迫力の光景を見ることが出来る。(3~7月)



ウミネコ

日本とその近海にのみ生息。オオセグロカモメより小さく、黄色い足が特徴。黒崎海岸では、ウミネコの親子を近くで観察できる。(3~7月)



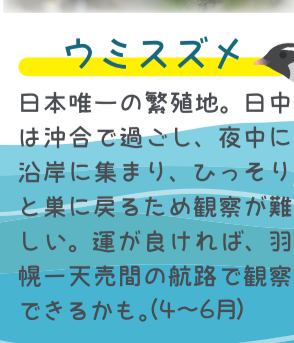
ケイマヅリ

日本とその近海にのみ生息し、世界的にも数が少ない種類。繁殖期の5月~7月頃は、美しい声で鳴き交わす様子を赤岩展望台から観察できる。



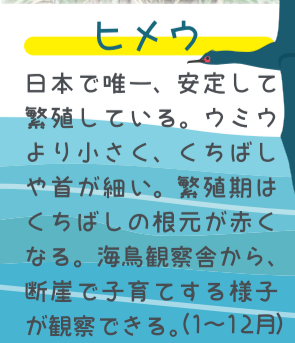
ウミウ

1年を通して観察できる。体は緑色の光沢のある黒色で、くちばしや首が長い。岩礁や港で群れをつくって休息し、翼を広げ羽を乾かしている姿がよく見られる。



ウミスズメ

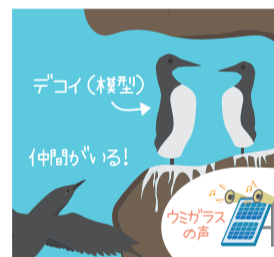
日本唯一の繁殖地。日中は沖合で過ごし、夜中に沿岸に集まり、ひっそりと巣に戻るため観察が難しい。運が良ければ、羽幌一天売間の航路で観察できるかも。(4~6月)



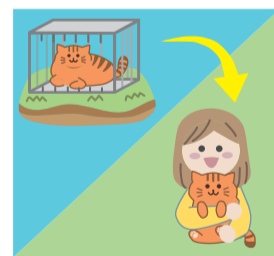
ヒメウ

日本で唯一、安定して繁殖している。ウミウより小さく、くちばしや首が細い。繁殖期はくちばしの根元が赤くなる。海鳥観察舎から、断崖で子育てする様子が観察できる。(1~12月)

人と海鳥が共生するために



生息数が激減してしまったウミガラスを増やすため、デコイ(模型)の設置や音声を使った飛来を促す取り組み、ハシブトガラスなどの捕食者の捕獲が行われています。



以前、天売島には200匹以上のノラネコが生息し、ウトウやウミネコが襲われていました。ノラネコを捕獲して、人が飼えるように馴らし、新しい飼い主に譲渡する取り組みが行われています。



海鳥に優しい取り組みを行う事業者をシーバードフレンドリー(SBF)認証制度で応援しています。SBF認証された商品を購入することで海鳥保護につながります。

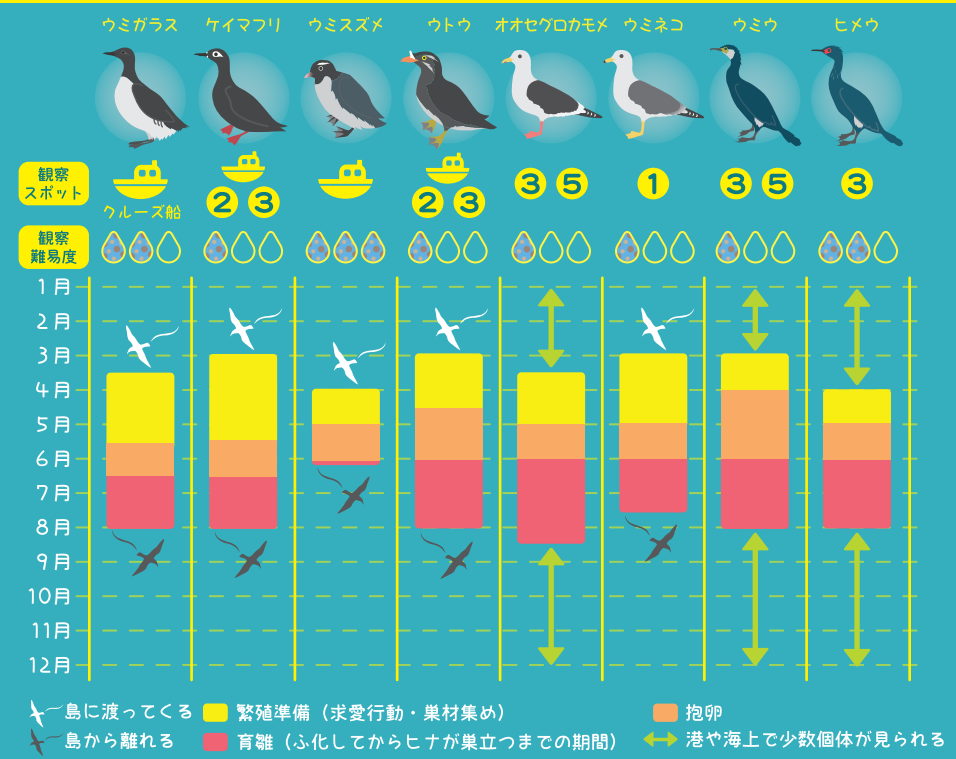
生きもの観察を楽しむためのお願い

たくさんの生きもののにぎわう素敵な島ですが、人が生きものとの接し方を誤ってしまうと、安心して暮らすことができなくなります。そうならないようにマナーを守り、観察を楽しみましょう。

- 野生動物に食べ物を与えないでください。
- 道から外れず、舗装路の上から観察しましょう。
- 野生動物を驚かさないう、適切な距離で観察しましょう。
- ゴミは責任を持って持ち帰りましょう。



天売島の海鳥カレンダー



繁殖期の体の特徴

顔はこげ茶	目の周りが白い	目の上が白い	くちばしの突起	ピンクの足	黄色い足	頬と喉が白い	目の周りが赤い
白いお腹	赤い足					脇が白い	脇が白い

よく見られる環境

海	崖	岩礁	崖	崖	崖	崖	崖
---	---	----	---	---	---	---	---

観察しやすい時間帯

早朝/日中	日中	日中	日中/夕方	日中	日中	日中	日中
-------	----	----	-------	----	----	----	----

観察難易度

① ・・・ごく普通に観察できる
② ・・・よく探したら観察できる
③ ・・・希に観察できる

よく見られる環境

地面 崖
海 岩礁

天売島の生きもの散策マップ



3 海鳥観察舎

備え付けの望遠鏡を使って海鳥観察を楽しむことができます。ウミウやヒメウ、オオセグロカモメなどが観察できます。

2 赤岩展望台

海鳥繁殖地を見渡すことができます。足元に広がるウトウの巣穴や岩の隙間から出入りするケイマフリ、岩礁で寝そべるゴマフアザラシを観察することができます。夕暮れ時には、ウトウが巣穴に戻る様子を観察できます。

1 黒崎海岸

海岸沿いにウミネコの集団繁殖地が広がります。ヒナが親にエサをねだる姿や巣立ち前の幼鳥が飛ぶ練習をするなど、たくましく生きる姿を間近で見ることができます。(3月～7月)

天売島までの移動 / 羽幌フェリーターミナルから高速船またはフェリーで1時間から1時間35分。

カマイルカ 運がいいと航路で出会えるかも。

生きもの探しに行ってみよう!

おすすめのスポットは ① から ⑥ です。

島内一周 約10km
徒歩 約5~6時間

おろろんレンタカーで借りられるよ

5 観音岬展望台

断崖に営巣する海鳥を観察することができます。夕暮れ時には、沖合に出ていたウミウやオオセグロカモメなどが帰ってくる光景もみられます。

6 林内のフットパス

中心部に広がる林は、春と秋に渡り鳥の休息場所になっています。フットパスでは、多くの種類の野鳥を観察できます。夜間は、ヤマシギやトラフズクに出会えるかも。

羽幌フェリーターミナル

双眼鏡があると観察しやすいよ

